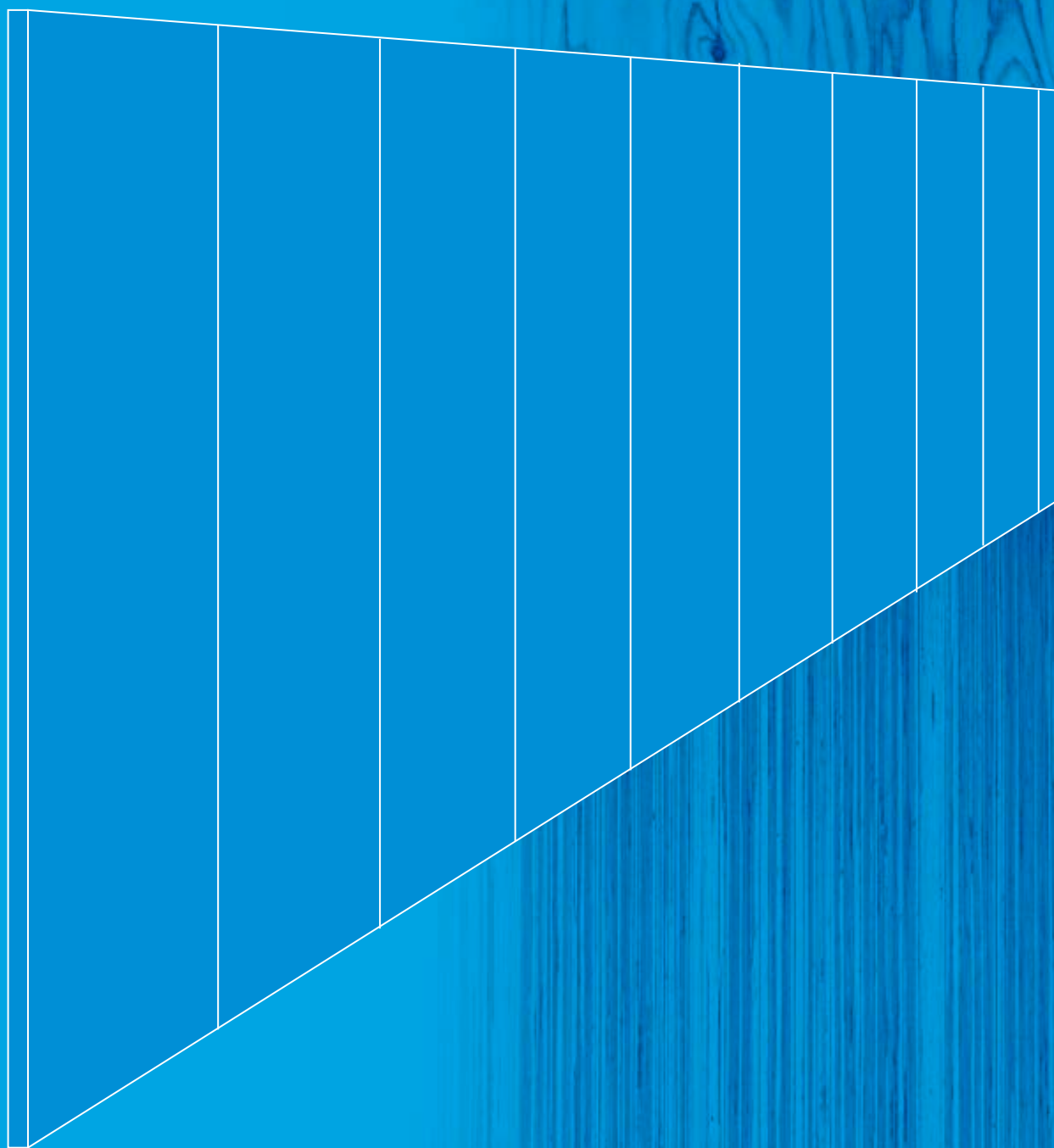


高強度耐力壁

# KEYLAM 木層ウォール®

キーラム木層ウォール®





## 構造設計

キーラム木層ウォールの中におさまる接合具により、高い耐震壁性能で設計可能です。  
一本あたりの引張耐力から計算した壁設計の例を示しました。

各接合方法の換算壁倍率の計算例 ※この表は計算例で、確認審査の根拠にはなりません。

樹種・区分	接合具	2/3 Pmax (kN)	剛性 K (kN/mm)	アンカーボルトの仕様	降伏応力 Py (kN)	換算壁倍率 Pa (倍)
スギ A種	LSB 径35×長445 2本	90.3	281.4	M16×長400 2本	73.8	12.6
	GIR 径24×長300 4本	153.7	884.3	M22×長400 2本	142.4	24.2
スギ B種	LSB 径35×長445 2本	121.4	220.1	M20×長400 2本	115.2	19.6
	GIR 径24×長300 4本	173.8	674.9	M24×長400 2本	165.9	28.2
カラマツ A種	LSB 径35×長445 2本	141.8	717.3	M20×長400 2本	115.2	19.6
	GIR 径24×長300 4本	111.0	579.3	M16×長490 2本	102.1	17.4
カラマツ B種	LSB 径35×長445 2本	256.4	528.8	M24×長490 2本	229.5	39.0
	GIR 径24×長300 4本	216.5	815.7	M27×長400 2本	215.7	36.7

2/3Pmax：接合具の最大応力2/3

K：接合具の初期剛性の平均値

アンカーボルトの仕様：アンカーボルトの降伏応力が2/3Pmaxを下回るように設計

Py：アンカーボルトの降伏応力

Pa：Py/(3×1.96)

LSB：ストローグ製 GIR：ホームコネクター(スクリムテック製)を想定

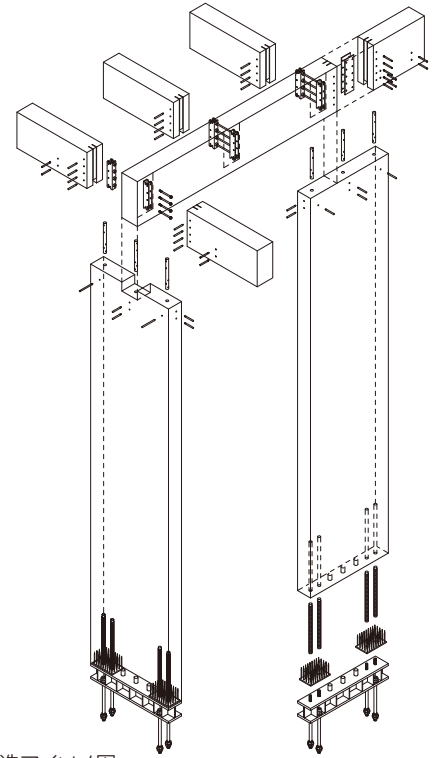
壁寸法：厚150×幅1000×長3000の場合

計算：柱脚の引張のみ

考え方：靱性のある基礎のアンカーボルトを接合具に先行して降伏させる

接合具1本あたりの引張性能等、詳しくは全国LVL協会HPの

「構造マニュアル 平成26年度県産スギを用いた単板積層材による厚板構造部材の開発実績報告書」をご覧ください。



構造アイソメ図：

坂田涼太郎構造設計事務所(金物：ストローグ製)



ラグスクリューボルト打ち込み



神奈川大学国際センター

意匠：鈴木アトリエ

構造：坂田涼太郎構造設計事務所

接合：ラグスクリューボルト(ストローグ製)



## 耐火設計

キーラム木層ウォールは平成27年に制定された告示で準耐火建築の燃えしろ設計の壁として使うことができます。

### 構造用単板積層材の要求耐火時間別燃えしろ寸法

要求耐火時間	燃えしろ寸法	
	柱・はり	壁・床・屋根
準耐火30分	—	25mm
準耐火45分	35mm	35mm
準耐火60分	45mm	45mm

接着剤はフェノール樹脂・レゾルシノール樹脂の場合に限る。  
 引用先:木造建築物の防・耐火設計マニュアル(平成29年3月 日本建築センター発行)  
 詳しくは上記マニュアルP108を参照下さい。



中村邸

意匠: 中村高淑建築設計事務所

構造: 吉田一成構造設計室

接合: ホームコネクター(スクリムテック製)